

公表 業所における自己評価総括表（放デイ）

○事業所名	障害児通所支援事業所ちゅらハウス（児発・放デイ多機能型）		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15 日		～ 2025年2 月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15 日		～ 2025年2 月28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3 月 20 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後児童クラブ併設と、児童館も隣接しているので、障がいのない子と交流する機会が多く持てる。	①長期休暇時や、プログラム終了後等を利用し、隣接している児童館で地域の子ども達との交流を図っている。（一緒にドッジボールや卓球、サッカー等を行う。） ②行事は、放課後児童クラブと合同で行う。 ③同敷地内という事で、一日の終わりの「帰りの会」を曜日で設定し、放課後児童クラブと一緒にを行う。	障害のある子とない子が一緒に過ごす事や、交流できる機会を多く持つ事、色々な体験活動の場を設け、一緒に過ごす事で、お互いの事を理解し、協力し合える関係性が図れたらいい。その為にも、事業所内だけではなく、地域との交流も図りながら、色々な活動を体験できる場の設定を行う。
2	保護者との情報共有を図るために、お便りやブログ、ライン等を利用し、常に情報発信を行い連携を図っています。	帰りのバスでの送迎時や、保護者のお迎え時間帯には保護者対応職員を配置し、子どもの様子を保護者様へ丁寧に伝えるようにし、保護者との信頼関係を図っています。	接遇研修を年度初めに行い、ミーティングなどでも常に確認と共有を行い取り組んでいます。
3	個別支援計画に添った支援の共有を全職員で行い、日々の支援についての振り返りも毎回行いながら支援の統一性を図っています。	全職員が揃う午後から、前日の支援についての振り返りと対策、当日の支援内容と流れを確認し支援の統一性と共有を図っています。	研修への積極的な参加を促し、職員の質の向上に努めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動が少ない。	保護者会、保育参観、保護者参加型イベント等を通し、計画していましたが計画通り開催出来ませんでした。事業所側の日程調整がうまくいかず、出来なかったことは大きな反省。	年間計画に日程を前もって組み込み、保護者様へ事前に周知しておくなどの対応をし、次年度は計画通り出来るようにしていきたい。
2	バリアフリー対応になっていない。	事業所が2階部分になっており、階段を利用しての移動になります。階段部分への手すりは配置済み。歩行の安定が取れない子に関しては、職員が付き添い介助しながら移動します。	現段階、2階部分への移動に関しては問題なく移動できています。児童により、職員が付き添い対応していますが、車椅子対応児童の受け入れに関しては厳しいのがあり、当事業所の課題です。
3	職員数を増やす事で、個別支援の充実が図れると思う。	配置基準は満たしていますが、充実した支援を行う為には職員数を増やしていく必要がある。	有資格者、実務経験者の人材育成を図りながら、採用に向け取り組んでいく。

公表 養育者等からの事業所評価の集計結果（放デイ）

事業所名		障害児通所支援事業所 ちゅらハウス（児発・放デイ多機能型）		公表日		年月日 2025年3月25日			
		利用児童数		17		回収数		17	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1				室内に関しては、確保されていると思うが、園庭が狭いので、園外活動等で公園を利用し活動できるようにしています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1				職員数は、一人一人に寄り添った支援をしていくためにも増やしていきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	1	1		建物の構造上、バリアフリーにはなっていませんが、配慮が必要な子に関しては、職員が対応しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17					それぞれの活動に応じて、環境設定には気を付けておこなっています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16			1		日々の支援に対する振り返りを行う事で、理解し、支援を行うようになってきている。更に、職員の質の向上を目指し頑張っており取り組みたい。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17						
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					保護者様、児童、職員とのアセスメントや会議等で意見を出し合い作成しています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17						
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17					外部講師や専門講師の勤務上、曜日を固定している事もあるが、長期休暇時等を利用し、色々なプログラムを体験できるような取り組みは行っています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17					環境から、交流が十分に図れている事は、当事業所の強みだと思います。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1				毎年の課題であったペアトレを、今年度は開催出来ました。次年度も継続し、開催していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17					保護者様との連絡調整、情報共有は日頃気を付けて行っています。電話、公式ライン、直接お会いし、連携を図っています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	4	2			計画通りの開催が出来なかった事が大きな反省。保護者のニーズが大きいので、保護者同士の連携が図れるようにしていきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17					年度初めに、体制等の説明は行い、毎月のお便りでも周知を行っています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17					送迎時の子どもの様子報告、活動の様子など直接または電話などを通して行っています。信頼関係を築く為にも、丁寧に取り組みを行いたい。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17					毎月のお便り、ブログ、ホームページ等で行っています。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				研修会や、日々のミーティング等での確認を毎年行い、徹底した取り組みを行っています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		2	マニュアルについて説明し訓練も行ってはいますが、周知できていないので、周知の仕方を今一度見直し改善していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			1	毎月行っている訓練の様子やお知らせは、毎月のお便り、ブログでも配信していますがもう一度、周知の仕方を見直します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			1	周知の仕方を見直し、改善しながら保護者様の理解が得られるようにしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17				電話連絡又は、直接お会いし説明を行い対応しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17				職員との信頼関係を持ち、子ども達が安心して過ごせる居場所でありたい。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17				楽しみにしているが、本人の嫌いなプログラムの際は、行き渋りがある。 プログラムの内容も検討しながら、日々楽しく過ごせるよう検討していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				合い、楽しみながら安心して過ごせる環境設定を図りながら支援をしています。

公表 事業所における自己評価結果（放デイ）

事業所名		障害児通所支援事業所 ちゅらハウス（児発・放デイ多機能型）		公表日		2025 年 3 月 25 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		部屋の増築で、個別支援に対応できています。	スペースはあるので、更に実用的に改善しながら使用していきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3		配置基準は満たしているが、児童一人一人の特性に合わせて支援を行うには支援員を増やしていく必要がある。質の高い支援をしていくためには今の配置人数では厳しい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	それぞれの子どもに応じて、わかりやすい伝え方（視覚的側面の配慮等）等の配慮を行っています。	建物の構造上は、バリアフリーにはなっておりませんが、子どもの特性に合わせた配慮は行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		落ち着いて過ごせるような空間設定を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		環境設定には十分な配慮で取り組んでいます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎日の支援の振り返りを全支援員参加で行い、共有を図り、改善するところは改善し対応しています。	毎回、支援前に全職員参加で前日の支援の振り返りと当日の、支援内容の確認と流れの確認を行う事で、支援の統一を図っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		全職員で共有を行い、改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日の支援振り返りや、ミーティング、職員会議等を通して、業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		保護者や、評議員のみの評価になっている。第三者の評価をどうするか？今後検討していきたい	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修計画を立てて、月1回の職場内研修と外部研修への参加を行い、資質向上に努めています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページでの公表と、保護者への周知を行いました。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		全職員、専門講師、相談支援員、保護者様との話し合いやアセスメントで、個々に応じた計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全職員での会議を行い、共通理解を行い取り組んでいます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		全職員把握の上、共有を行ったうえで支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	全職員で分担し、プログラムの担当を決め、担当が立案した内容を、全職員で確認していく。	担当職員が立案し、それを全職員で確認し、見直しを行い実行しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2		プログラムを曜日で固定しています。（外部専門講師による訓練）。長期休暇時などを利用し色々なプログラムが体験できるようにしていきたい。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		ミーティングでの確認は、全職員参加のもと行っています。	全職員が揃う、支援前に全員参加のもと行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後は、正規職員のみ行い、翌日に全職員での振り返り共有を行う。全職員が参加して行う事で、いい支援にもつながるので、必ず全職員で行う事の徹底を図る。	勤務体制で、支援終了後の振り返りは全職員で行う事が厳しいので、翌日全職員がそろった中で、振り返りを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日の記録を、振り返りや日々の支援に繋げています。年度初めには、記録の書き方の研修を行い共有を行っています。	内容につき、記録者によりばらつきがないようにしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		相談支援員と連携を図りながら、職員間での話し合いを常に行いながら対応しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		一人一人の特性に応じて、組み入れ活動を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		一人一人の特性を考慮し、子ども主体での取り組みを行う様に、安心して発言が出来るような配慮も行う。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者や、支援担当者が参加していく。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		自立支援協議会への参加を行い、連携を図っていく。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		新年度初めには、学校への挨拶を丁寧に行い連携が取れるようにしていく。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	保護者様の了解の上、情報共有できるようにしていく。	連携が図れるように、年度初めの挨拶を行いながら、情報共有を図っていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				学校卒業対象児は2号館が対象になっているが、保護者様の了解を得て、情報提供は行うようにしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	当市には、児童発達支援センターはありませんが、研修などで参加しています。	研修等への積極的な参加で、連携を図りたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		学童クラブ併設の為、常に交流が出来る環境にあるので、子ども達の状況に合わせてながら行う。	児童館、学童クラブなどの交流は定期的に行う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		毎回管理者が参加し、情報共有を行いながら連携を図っていく。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳や、ライン、電話等で又、送迎時に保護者様への子どもの状況・支援状況などこまめに伝えるようにしていく。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		今年度より開催出来ました。今後も継続的に行う。	全保護者への周知を行いながら、継続した取り組みを行う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		入所の際や変更時には、面談を行い丁寧な説明を行う。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		子どもとの面談、保護者との面談等を通して行う。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		個別面談を行い、同意を得る。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者様との連携を図り、話やすい雰囲気や気を付けながら傾聴の姿勢で臨む。	保護者様との信頼関係を大切に行う。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3	家族参加型行事や、保護者会・保育参観等を計画し行う。	計画通り開催出来なかったことが大きな反省。次年度は、年間計画に組み入れ、前もっての周知で取り組める様にしていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		体制を整えて、対応しています。常時、周知を行う。	全職員に対し、毎年度初めの研修で体制等について再確認を行いながら取りくんでいく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		月1回のお便り発行、ブログでの活動内容発信、ホームページでの公表や情報提供等、行っています。	発信に当たり、個人情報の取り扱いには十分気を付け行う。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		保護者様へは、説明と同意を文書で頂き、職員に対しては、年度初めの研修で又ミーティングなどでも常に確認をおこない留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		それぞれに合わせた対応で取り組んでいます。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		地域の方々にも参加していただき「秋祭り」を開催出来た事は良かった。次年度も継続した取り組みを行いたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		保護者への周知の仕方が毎年の課題。全保護者様が把握できるような周知の仕方を全職員で検討し改善を図る。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		入所前には、個別でのアセスメントをとり確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	入所前には、個別でのアセスメントをとり確認し対応しています。現段階では、対象児なし。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		職員に対する研修も行き対応しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		新年度初めには、説明を行い周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		研修と、その都度全職員での共有を徹底し行う。	年度末には、一年間の振り返りを全職員で行い、次年度に向けた対応を話し合う場を設けていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		全職員必須の受講内容で、職場内研修や外部研修などで受講を行い、対応等の確認も行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		全職員での話し合いを行い対応していきます。		

公表 事業所における自己評価総括表（児発）

○事業所名	障害児通所支援事業所ちゅらハウス（児発・放デイ多機能型）		
○保護者評価実施期間	2025年1月17日		～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年1月17日		～ 2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門講師による動作法訓練の取り組みで、体の緊張を緩める事により、自分の体の動きに気づき、体の使い方が上手になり歩行の改善が図られるようになった。	毎回の訓練記録をとり、振り返りを行いながら課題設定を行い、利用児の目標達成が図られるように、講師の先生と連携し支援に当たっています。	年数回は、本島よりスーパーバイザーの先生をお招きし訓練会を開催している。
2	保育所やこども園との併行利用を行い、送迎時を利用し支援内容や児の様子等、お互い情報共有を図りながら連携を密にとる事で、支援の統一性が図られています。	送迎を行う事で、顔を合わせながらの情報共有ができ、それぞれの園での様子や訓練の様子などを共有でき、連携が出来ている。	日々の情報交換を大切に行い、信頼関係の構築を図る事で連携がスムーズに行われる。
3	事業所での様子や、訓練の様子などを保護者様へ詳細に伝える（連絡帳やライン等）事で、安心して利用できるような配慮を行っています。	訓練の様子等を動画でご家族様へ伝える事で、児の成長を一緒に確認できる。	希望があれば見学等も受け入れ、保護者様がいつでも訓練の様子を確認できるようにしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児の通う保育所や、こども園との交流が出来ていない。	連携は取れていますが、保育園やこども園での様子等、交流を行いながら確認できたらいい。	次年度は、児の併行利用している保育園やこども園での様子等、見学交流を行う事で、さらに児への理解が図られ、見方も深まり支援の充実が図られると思う。
2			
3			

公表 護者等からの事業所評価の集計結果（児発）

事業所名		2025 年 3 月 25				公表日 日		
障害児通所支援事業所 ちゅらハウス（児発・放デイ多機能型）		利用児童数		3人		回収数 3人		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2			1	事業所の構造上のバリアフリーにおいては、現段階での改修は厳しいので、対象児には十分な配慮を行い職員で対応を行います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2			1	児童発達支援提供における支援内容（動作法訓練）を中心に、それぞれの個別の課題に添った支援を行っています。こども園や保育園との併用利用児が多いので、そこの連携を図りながら、保護者にとってもわかりやすい記載方法と説明を丁寧に行います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				訓練を行う事で、歩行の安定が取れるようになり、行動範囲も広がり言葉数も増えてきた事が嬉しい。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	1		1	動作法訓練の固定したプログラム内容になっていますが、導入や訓練終了後は、児が楽しめるような関わりを行うなどの工夫を行うようにしています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1			2	対象児が利用する時間帯は、個別での取り組みになるので、長期休暇時を利用し交流を図るようにしていきます。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2			1	今年度より取り組みを行っているが、周知方法について改善が必要。全保護者に行き届く周知方法を行っています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1		1	外部主催親の会開催についてのお知らせは頂いていましたが、ちゅらハウス主催の親の会、親子参加行事は参加したことがない。	保護者会等の開催が計画通り行われなかったのは大きな反省です。次年度は、その反省を踏まえ開催していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			1	保護者様への周知方法についての改善が必要。毎回面談時等でも説明を行っていて、訓練様子などの情報発信も行ってはいますが、周知できていないのが毎年の課題です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			1	上記と同じです。訓練計画に基づいて毎月行っていますが、保護者の皆様への周知について根気強く取り組みを行います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2			1	周知方法について、色々試しながら理解を促すような取り組みを行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2			1	こども園から送迎をして頂き、利用させてもらっているので、安心して通所しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2			1	動作法の訓練の様子を家でも真似したり、時にはふざけながらやってみせてくれるので楽しんでいると思う。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				本児の状態に合わせ、無理せず訓練が出来るように、保護者の皆様との情報共有を図りながら行います。

公表 業所における自己評価結果（児発）

事業所名	障害児通所支援事業所 ちゅらハウス（児発・放デイ多機能型）			公表日	2025 年 3 月 25 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		落ち着いて、訓練が出来るように静かな環境設定で行っています。	訓練スペースは、部屋の玩具や、置物で気が散らないように本児の視界から興味あるものを取り除き、集中して取り組めるような配慮を行う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		専門講師による訓練を行っているので、記録や送迎、その他対応等で、配置は行っています。	送迎体制を、児に応じて複数人配置して行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	障がいの特性に応じて、対応を行っています。	2階部分が、専用ルームになっているので建物自体がバリアフリーではありません。階段の手すりや、配慮が必要な児に対しては職員が対応を行い支援出ています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		落ち着いて過ごせるような空間設定を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		環境設定には十分な配慮で取り組んでいます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		毎回の振り返りを行い、全職員支援内容や方法などの共有が出来ている。支援計画についても全職員が意見を出し合い行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		全職員で共有を行い、改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日の支援振り返りや、ミーティング、職員会議などを通して、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		保護者のみの評価になってしまっています。第三者委員へは、結果報告のみになっている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修計画を立て、月1回の職場内研修と、外部研修への参加を行い資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページでの公表と、保護者様への周知も行いました。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		全職員、専門講師、相談支援員、保護者様との話し合いやアセスメントで、個々に応じた計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全職員での会議を行い、共通理解を行い取り組んでいます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		全職員把握の上、共有を行ったうえで支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		動作法訓練を通しての支援内容を設定し支援を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	全職員で分担し、プログラムの担当を決め、担当が立案した内容を、全職員で確認していく。	担当職員が立案し、それを全職員で確認し、見直しを行い実行しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	3		プログラムを曜日で固定しています。（外部専門講師による訓練）。訓練だけではなく、前後で楽しい事も組み入れて行うようにしていきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		5		個別支援が主になっているので、集団活動の場が、こども園や保育園になっている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		ミーティングでの確認は、全職員参加のもと行っています。	全職員が揃う、支援前に全員参加の基行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後は、正規職員のみ行い、翌日に全職員での振り返り共有を行う。全職員が参加して行う事で、いい支援にもつながるので、必ず全職員で行う事の徹底を図る。	勤務体制で、支援終了後の振り返りは全職員で行う事が厳しいので、翌日全職員がそろった中で、振り返りを行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録の書き方は、年度初めに全職員での勉強会を行い共有を図っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		基本的には、6か月に1回の見直しを行います。が、児の状態に合わせて見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者等が参加し、後日全職員への内容報告を行い、共有を図っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	自立支援協議会への参加などを行い、連携を取っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	併行利用児に関しての情報共有は、都度都度行っています。連携を図りながら、対応していく。	連携を図りながら、支援の統一性を図りたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	相談支援員を通して、連携を図りながら情報共有を図り行っていく。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5		石垣市には、児童発達支援センターがないが、研修等には参加し助言を受ける事はあります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		事業所としてはないが、利用児のほとんどがこども園や保育所との併行利用なので、そこで出来ていると思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		今年度より取り入れ開催しています。次年度も継続して行っています。	保護者様が参加しやすい時間帯や曜日の設定も考慮し、次年度へ向け計画を行いたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		面談時に個別で取り組んでいます。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		両者のニーズを確認し、	児童の意思も尊重しながら作成を行う。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		個別面談にて説明を行い、同意を得ています。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者様との連携を図り、話やすい雰囲気、傾聴の姿勢で臨む。	保護者様との信頼関係を大切に行う。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者会や親子参加型行事を取り入れ行う。 (今年度は、1回のみ参加で計画通り出来なかったため、反省を踏まえ次年度は出来るようにしたい)	保護者同士の繋がりが図られるように、支援を行う。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		お便り等で、配信を行う。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		月1回の通信、ホームページでの掲載、ライン等での情報発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		事前に同意を得て、情報発信等を行っています。	年度初めには、全職員対象で研修を行い、常に確認と共有を図りながら気を付けていく。保護者様の同意書を必須として、支援を行う。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	今年度は、自治会、児童館も一緒になり「秋祭り」を開催し、沢山の地域住民との交流を図ることが出来ました。	地域との交流を図りながら、地域の中に入る事も積極的に行いたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		オリエンテーションや、個別面談にて説明を行っています(しおりも配布)。訓練は、年間計画を作成し、月1回それぞれの災害を想定し、訓練を行っています。	救急法講習は、毎年全職員受講するようにしていく。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		毎月の訓練を実施している。	訓練後の反省を全職員で行い、改善していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		入所時には、面談を行い必ず確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				現段階、対象児はいませんが研修は行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		研修受講や、安全計画の確認を全職員で行う。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			年度初めの説明と、書類にて提出をして頂くようにしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ミーティングで共有を図り、再発防止についての取り組みを全職員で行う。	全職員での共有を図る。年度末には、年間の振り返りを行い、次年度に向け対応を行っている。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職場内研修は、全職員必須で受講している。外部研修に関しても、積極的に受講している。	全職員研修報告書も必須とし、意識付けを行う。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		職員研修で内容確認を行う。今年度は、対象児なし。		